

素材生産量の移り変わり (樹種別)

「素材」とは、家具や建築用に国内で生産された丸太と角材のことだよ。

針葉樹は葉が針のように細長くて幹がまっすぐ上に向かって伸びるよ。クリスマスツリーのような形の木が多いんだ。

比較的早く成長するから軽くて柔らかい木が多いよ。



広葉樹は葉が平たくて枝は横に大きく広がるよ。こんもりと丸い形の木が主流なんだ。

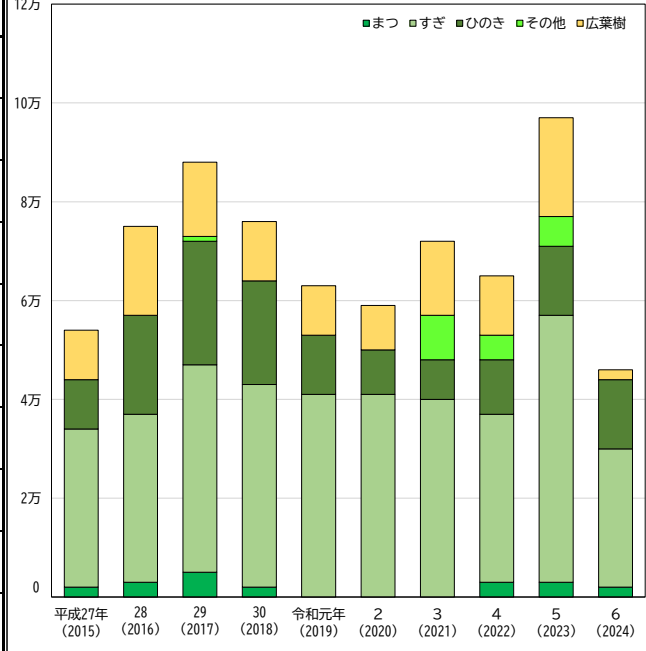


ケヤキやブナなどゆっくり成長して硬くて重い木になるものが多いよ。

(単位：立方メートル)

滋賀県	針葉樹				広葉樹	計
	まつ	すぎ	ひのき	その他		
平成27年 (2015)	2000	3万2000	1万0000	-	1万0000	5万4000
28 (2016)	3000	3万4000	2万0000	-	1万8000	7万6000
29 (2017)	5000	4万2000	2万5000	1000	1万5000	8万8000
30 (2018)	2000	4万1000	2万1000	-	1万2000	7万6000
令和元年 (2019)	0	4万1000	1万2000	-	1万0000	6万3000
2 (2020)	0	4万1000	9000	0	9000	5万9000
3 (2021)	0	4万0000	8000	9000	1万5000	7万2000
4 (2022)	3000	3万4000	1万1000	5000	1万2000	6万5000
5 (2023)	3000	5万4000	1万4000	6000	2万0000	9万7000
6 (2024)	2000	2万8000	1万4000	-	2000	4万6000

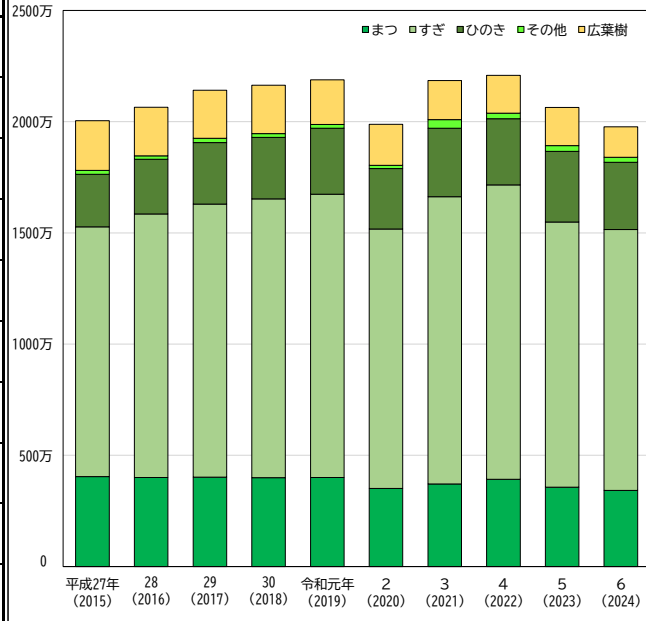
【図1】素材生産量の移り変わり (樹種別：滋賀県)



(単位：立方メートル)

全国	針葉樹				広葉樹	計
	まつ	すぎ	ひのき	その他		
平成27年 (2015)	404万7000	1122万6000	236万4000	17万0000	223万6000	2004万9000
28 (2016)	400万3000	1184万8000	246万0000	15万3000	218万8000	2066万0000
29 (2017)	402万1000	1227万6000	276万2000	19万8000	215万3000	2140万8000
30 (2018)	399万4000	1253万2000	277万1000	16万5000	217万8000	2164万0000
令和元年 (2019)	400万6000	1273万6000	296万6000	16万8000	200万7000	2188万3000
2 (2020)	351万0000	1166万3000	272万2000	14万2000	184万5000	1988万2000
3 (2021)	371万2000	1291万7000	307万9000	38万0000	175万9000	2184万7000
4 (2022)	392万1000	1323万8000	297万1000	25万6000	169万6000	2208万2000
5 (2023)	357万2000	1191万7000	317万6000	25万7000	172万1000	2064万3000
6 (2024)	342万5000	1172万8000	301万9000	22万9000	137万1000	1977万2000

【図2】素材生産量の移り変わり (樹種別：全国)



資料：「木材統計」農林水産省

※「-」は事実のないもの、「0」は事実はあるが1000立方メートルに満たないものです。

※表示未満の数値が四捨五入されているため合計値と内訳の計が一致しないことがあります。

■ 素材生産量の移り変わり (用途別)

「素材」とは、家具や建築用に国内で生産された丸太と角材のことだよ。

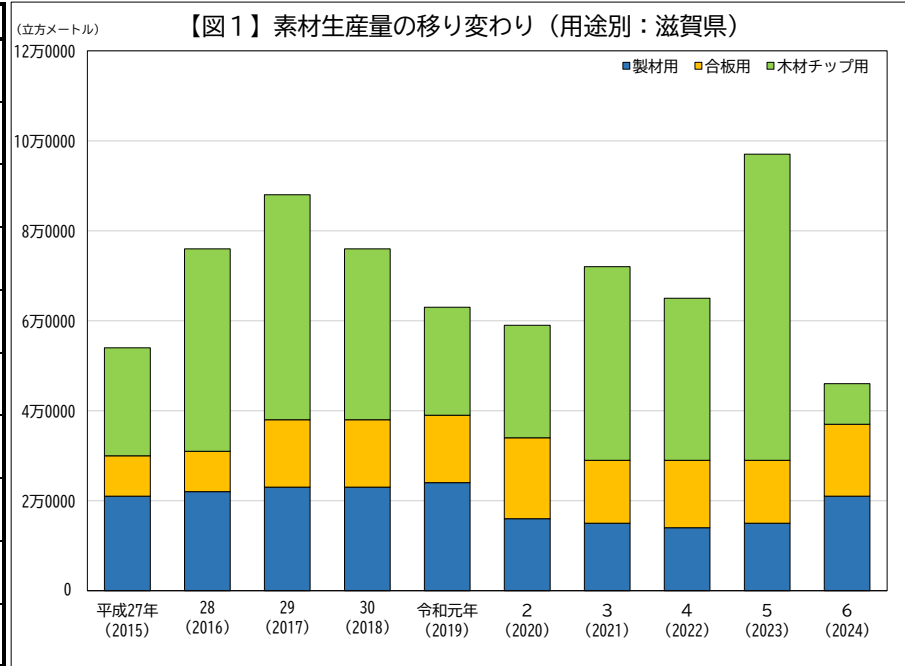
(単位：立方メートル)

滋賀県	製材用	合板用	木材チップ用	計
平成27年 (2015)	2万1000	9000	2万4000	5万4000
28 (2016)	2万2000	9000	4万5000	7万6000
29 (2017)	2万3000	1万5000	5万0000	8万8000
30 (2018)	2万3000	1万5000	3万8000	7万6000
令和元年 (2019)	2万4000	1万5000	2万4000	6万3000
2 (2020)	1万6000	1万8000	2万5000	5万9000
3 (2021)	1万5000	1万4000	4万3000	7万2000
4 (2022)	1万4000	1万5000	3万6000	6万5000
5 (2023)	1万5000	1万4000	6万8000	9万7000
6 (2024)	2万1000	1万6000	9000	4万6000

「製材」とは長さ180cm以上の素材から製材機で板などを造ることだよ。

「合板」とは素材から造られた薄い板を3枚以上重ねて接着したもの。

「木材チップ」とは木材の小さな破片のこと。



令和6年は滋賀県も全国も「製材用」が一番多かったよ。

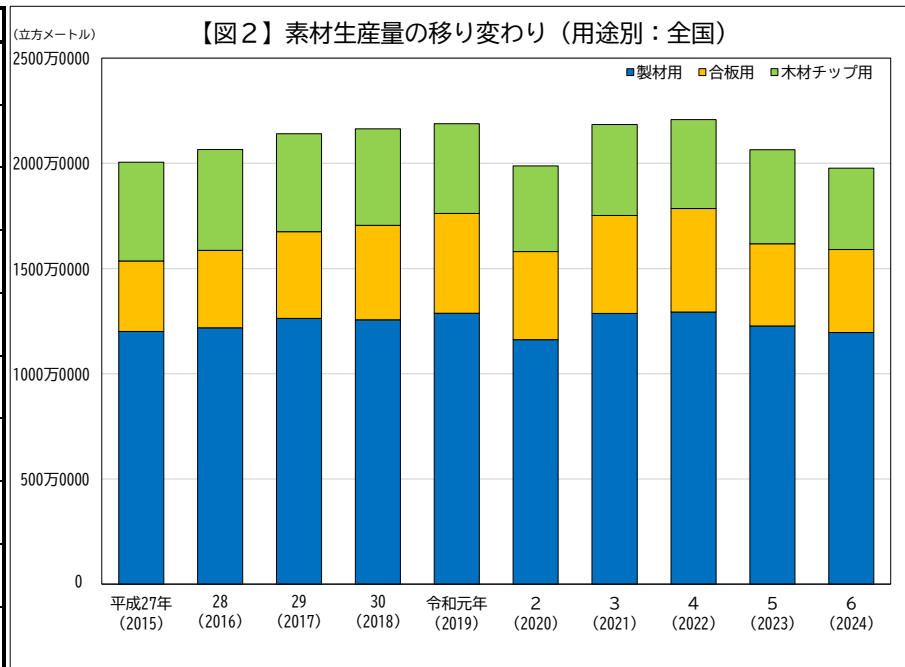
用途ごとの割合は都道府県によって千差万別なんだ。



それぞれの特色が出ていて興味深いからみんなも調べてみてね!

【図2】 素材生産量の移り変わり (用途別：全国)

全国	製材用	合板用	木材チップ用	計
平成27年 (2015)	1200万4000	335万6000	468万9000	2004万9000
28 (2016)	1218万2000	368万2000	479万6000	2066万0000
29 (2017)	1263万2000	412万2000	465万4000	2140万8000
30 (2018)	1256万3000	449万2000	458万5000	2164万0000
令和元年 (2019)	1287万5000	474万5000	426万3000	2188万3000
2 (2020)	1161万5000	419万5000	407万2000	1988万2000
3 (2021)	1286万1000	466万1000	432万5000	2184万7000
4 (2022)	1293万7000	491万2000	423万3000	2208万2000
5 (2023)	1226万7000	390万9000	446万7000	2064万3000
6 (2024)	1195万8000	394万4000	387万0000	1977万2000



資料：「木材統計」農林水産省